

1. 「ふくし」って何かな



「ふくし（福祉）ってなに？」と聞かれたら、みんなはどんなことを想像しますか。

目が見えない人や、自分の力で歩けない人などを助けることでしょうか。
からだの弱くなった高齢者を助けることでしょうか。

● 今、みんなが想像したことを書いてみましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. 大きな世界、大きな社会

(1) 今、世界は・・・

今、地球には75億^{おく}人の人間が住んでいます。約200の国や地域^{いき}で生活しています。
※出典(てん)：国連の2017年度版「世界人口白書」

豊かな国、豊かではない国、平和な国、争^{あらし}いのある国・・・

生まれてくる命、死んでいく命・・・。

どんな国に生まれても、人は今日という日を生きています。楽しい、悲しい、うれしい、苦しい・・・いろんな気持ちで生きています。そうしてあなたもその中の、かけがえのないひとりです。

あなたはどんな日を生きていますか。

どんな気持ちで生きていますか。

考えたことはありますか。



.....

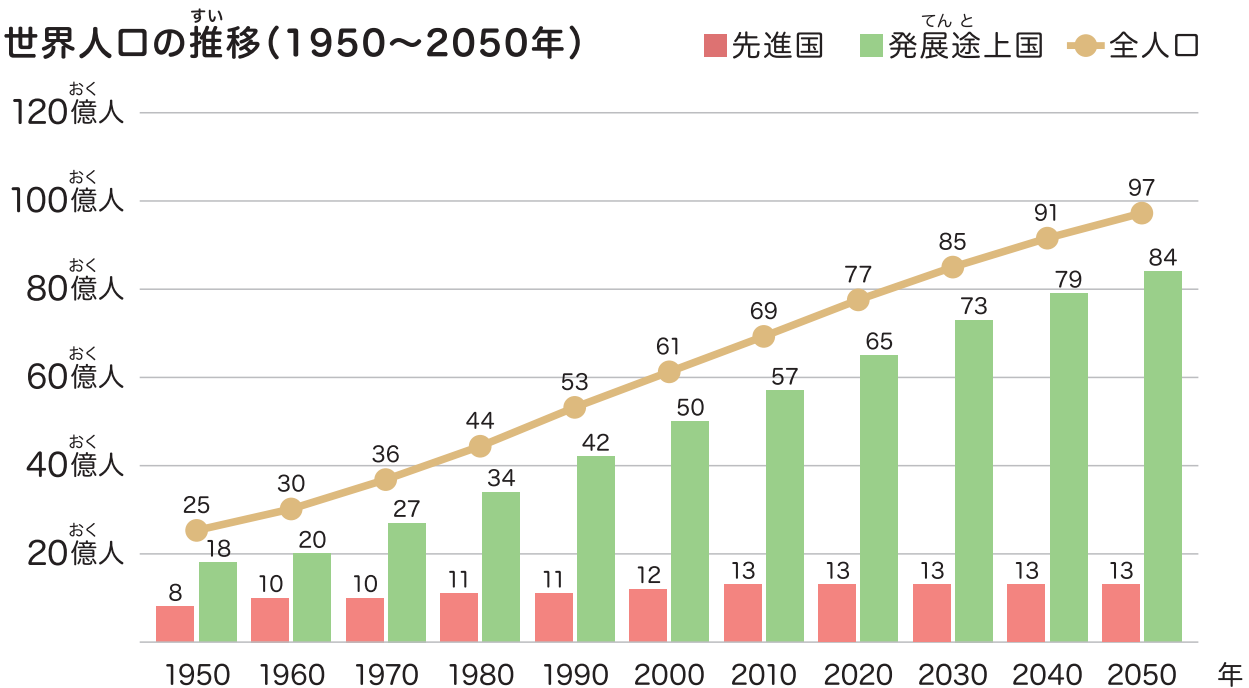
.....

.....

2. 大きな世界、大きな社会

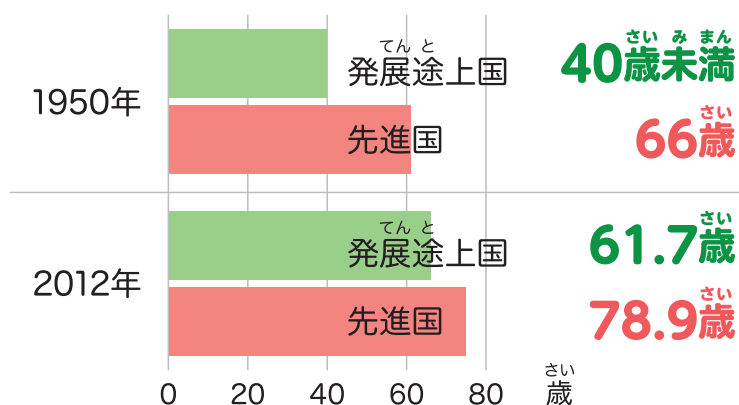
(2) 世界のすがた

世界人口の推移(1950~2050年)



※参照(さんしょう)：総務省統計局(そうむしょうとうけいきょく)「世界の統計(とうけい)2016」

発展途上国と先進国の平均寿命



※参照(さんしょう)：総務省統計局(そうむしょうとうけいきょく)「世界の統計(とうけい)2016」

15歳以上で読み書きの
できない人々

約7億8,100万人

※出典(てん)：ユネスコ(2015)

栄養不良や医療の不足
により5歳までに死亡する
子どもの数

1年間で約564万人

※出典(てん)：ユニセフ(2016)

.....

.....

.....

2. 大きな世界、大きな社会

(3) 食事ができる国・できない国

世界には、世界中の人たちが食べるのに十分な食糧りょうがあるのですが実際さいには地球上の9人に1人が、栄養不足えいようや飢えうで、今も苦しんでいます。

※出典(てん)：国際連合(2014)



なぜでしょう

まずまず貧しい人たちの多くは食糧りょうを買うために十分なお金がありません。

まずまず貧しくて、作物を育てる道具たねや種たねが買えません。

作物を育てても自然災害ぜんさいがいや戦争せんそうで作物が台無しになることもあります。

・・・他にもいろいろな原因いんがあります。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. 小さな世界、小さな社会

(1) みんなが暮らしている地域 ~ひと編~

世界の中の小さな国、日本。その中のひとつの県の、またその中の市や町、村。みんなが暮らす地域でも、いろいろな人が暮らしています。



一人ひとりそれぞれちがっているけれど、今日という日を暮らしています。あなたは、どんな人ですか。どんな暮らしをしていますか。あなたの暮らしている地域にはどんな人が暮らしていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

3. 小さな世界、小さな社会

(2) みんなが暮らしている地域 ~場所編~

みんながふだん暮らしている地域にはどんな場所や施設がありますか。そこでは誰がどんなことをして過ごしているのでしょうか。みんなの町は、お年よりや車いすなどを使っている人なども暮らしやすいでしょうか。



.....

.....

.....

3. 小さな世界、小さな社会

(3) みんなが暮らしている地域 ~活動編~

みんなが暮らしている地域の中では、その地域に住む人々によってさまざまな活動が行われています。

ふだんの暮らしの中で、どのような人が、どのような場所で、どのような活動を行っているのでしょうか。

まなぶ・はたらく

たくさんの方が、いろいろな思いをもって、学校や地域で学んだり、さまざまな場所で、働いたりしています。



たのしむ

仲間と一緒に趣味を楽しんだり、スポーツや、ボランティア活動をしたり。年齢や障害の有無にかかわらず、さまざまな活動をしています。



身近な人にどんな思いを持ってどんな活動をしているのか、話を聞いてみましょう。



4. 言葉の意味から考えよう

「ふくし」という言葉は漢字にすると「福祉」と書きます。「ふくし」という言葉にはどんな意味があるのでしょうか。「福」と「祉」の字の意味や成り立ちを調べてみましょう。

● 「福」の意味・成り立ち

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

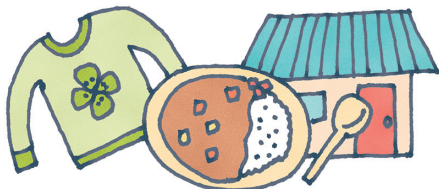
.....

.....

.....

.....

.....



● 「祉」の意味・成り立ち

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



5. 「しあわせ」と「ふくし」

あなたはどんな時に「しあわせ」を感じますか。友だちや周りの人とも話し合ってみましょう。

- モノやお金、食べ物などが豊かにあって、
困ることのないしあわせ。
- 自分のことを気にとめてくれる人がいる安心感や、
他の人と関わるなかでの楽しさやうれしさ。 など



A large rectangular area with a green border, containing horizontal dotted lines for writing.

「福」と「祉」の意味・成り立ち

● 「福」の意味・成り立ち

【意味】さいわい、幸せ、天の助け、神から授かる助けなど。

食べ物や着る物があるなど、物質的な豊かさを表します。

【成り立ち】神様にお酒をささげて幸せになることを祈る様子から作られました。

● 「祉」の意味・成り立ち

【意味】さいわい、神から授かる幸せなど。気づかい、安心、安らぎなど、心や気持ちなどの目に見えない幸せを表します。

【成り立ち】『しめすへん』と「止」が組み合わさって、神がとどまる場所を意味します。

福

+

祉

||

福祉

食べ物がある、着る物があるしあわせ

→ 物質しつ的な豊ゆたかさ・しあわせ

気づかい、安心、安らぎ

→ 心や気持ちなど目に見えないしあわせ

豊ゆたかに安心して暮くらせること

豊ゆたかに安心して暮くらしたいと思うのは、どこの国の人でもどんな立場の人でも同じではないでしょうか。そうだとしたら、弱い立場の人を助けることだけではなく、一人ひとりが大切で、みんながしあわせになることが「福祉」ではないでしょうか。

6. ^{だれ}誰もがしあわせに暮^くらしたいけれど

^{だれ}誰もが安心してしあわせに暮^くらしたいのに、しあわせに暮^くらせないのはなぜでしょうか。

それはしあわせを妨^{さまた}げるもの、「障^{しょうがい}害」があるからなのです。「障^{しょうがい}害」はみんなのまわりにたくさんあります。

自然^{ぜん}にも。

社会にも。

人の身体や心にも。

人と人の間にも。

いろいろなところにたくさんあります。あなたは気づいていましたか。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

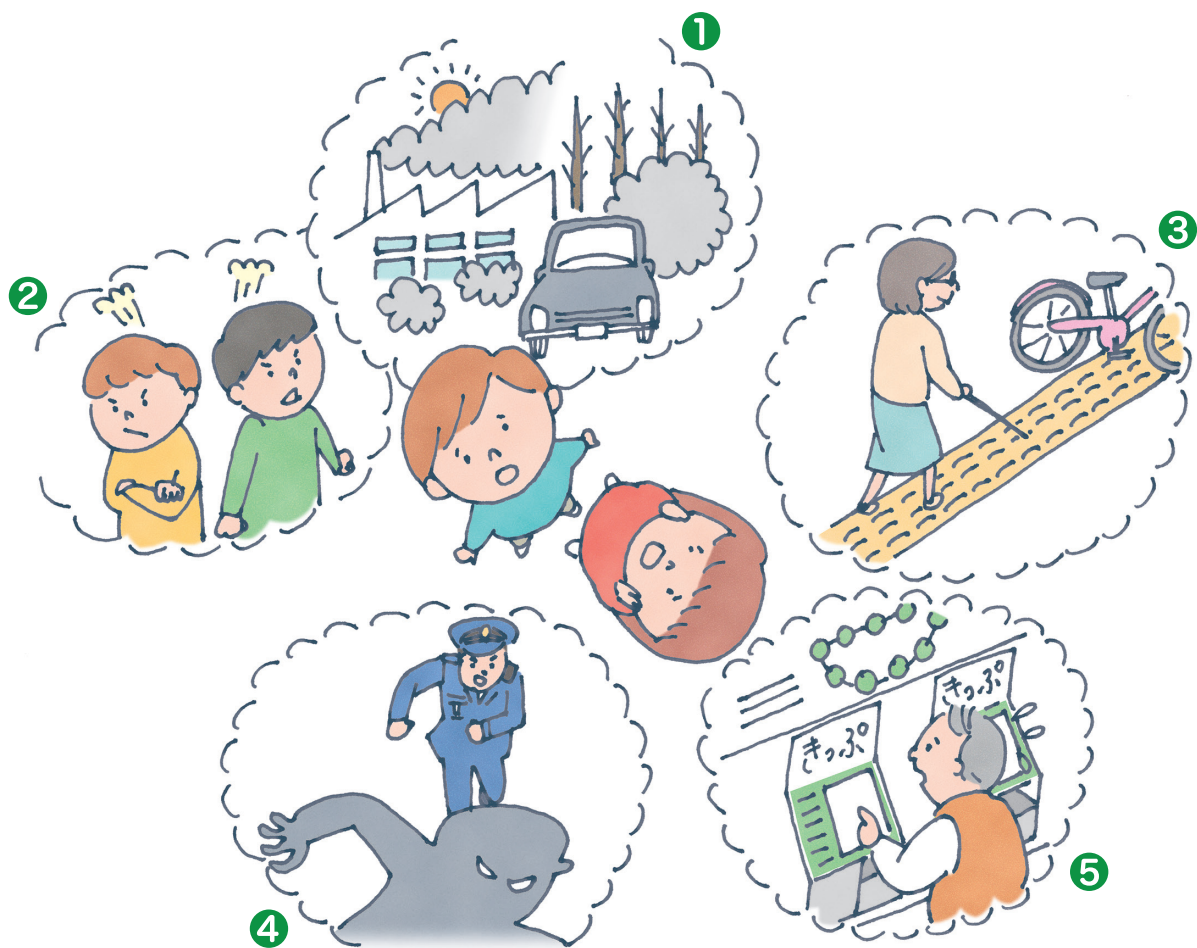


7. 毎日の暮らしの中で

(1) 自分のまわりにある障害しょうがい

通学路に急な坂道や段差だんはありませんか。汚れた空気よごの中で生活するのは楽しいですか。交通事故こうつうじこや犯罪はんざい（誘拐ゆうかいなど）に巻き込まれることはありませんか。友達だちとケンカしたまま仲直りできないと悲しくなりませんか。

これ以外いにもあなたが不安に思ったり悲しいと思ったりすることはありますか。



.....

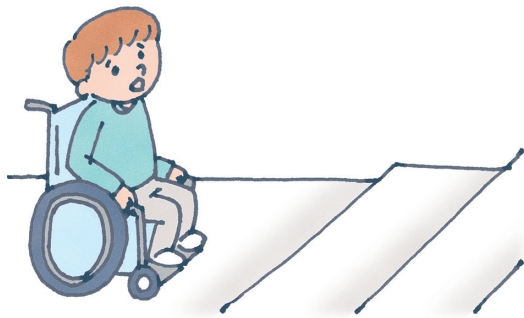
.....

.....

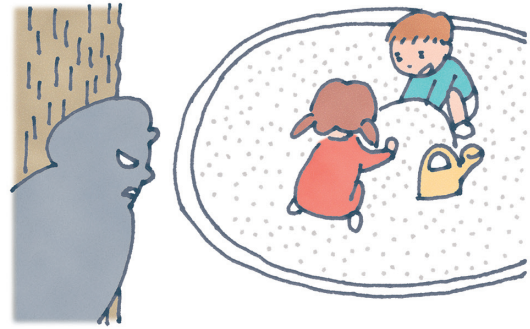
7. 毎日の暮らしの中で

(2) こんなときどうすればいいのかな

あなた以外の人たちや、そのまわりにある障害^{しょうがい}
たとえば・・・



① 車いす^り利用者たちは、でこぼこ道や段差^{だんさ}で困^{こま}っています。



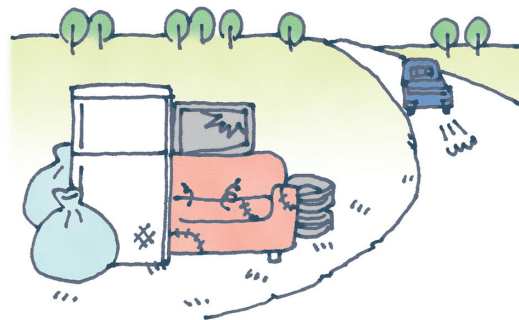
② 子どもたちだけで広場で遊んでいると、犯罪^{はんざい}に巻き込まれる^まかもしれません。



③ 困^{こま}っているのに誰も気づいてくれないかもしれません(無関心^{むかん})



④ 行きたい時に行きたい場所へ自由に行けない人たちもいます。



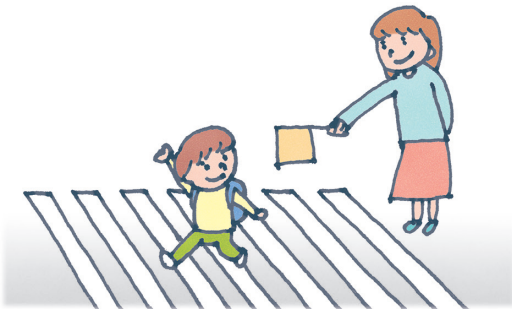
⑤ ごみ捨場^{すて}ではないところに勝手にごみを捨てる^す人がいます。

7. 毎日の暮らしの中で

(3) ひとりの力は^{かぎ}限られているから

障害には自分で防^{ふせ}げるものもあるし、防^{ふせ}げないものもあります。だから、あなたのことを支^{ささ}えてくれる人たちがいるのですね。

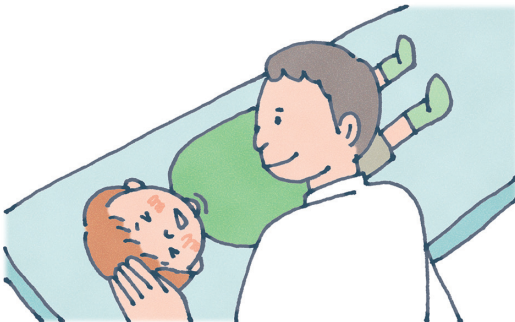
たとえ
例えば・・・



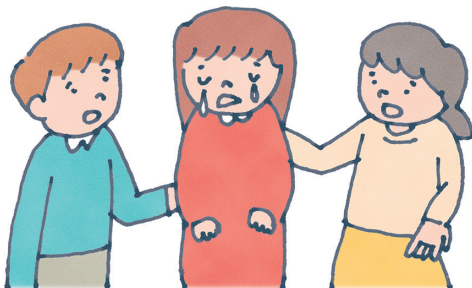
- ① 学校に行くとき交通事故にあわないように、見守ってくれている人たちがいます。



- ② 犯罪(誘拐など)に巻き込まれないように、パトロールしてくれている人たちもいます。



- ③ 病気になったら、お医者さんが治療^{ちりょう}をしてくれます。



- ④ 嫌^{いや}なことや悲しいことがあったとき、はげましてくれる友だちがいます。

ほかには、どんな人があなたを支^{ささ}えてくれていますか。

8. 一人ひとりがしあわせに

(1) しあわせに暮らすための公的な制度

● 困った時に支える仕組み

- ① みんなで加入し、みんなで支え合う仕組み
- ② 生活に困っている人をみんなで助け合う仕組み
- ③ いろいろな人が安心して生活を送れるようにする仕組み
- ④ みんなの健康を守ってくれる仕組み

これら4つの仕組みを合わせて「社会保障制度」といいます。これは、みんなで支え合い・助けられる仕組みで、しあわせに生活を送れるようにする公的な制度です。

福祉の仕事

- ① 心身に障害のある人などの相談に乗って生活に必要な支援を行う人
- ② 地域の困りごとを解決する人
- ③ 一人でベッドからの移動や食事ができない人の手助けをする人

これらはみんな福祉の仕事をしている人たちです。みんなは知っていましたか？福祉の仕事はたくさんあります。どんな仕事があるのか調べてみましょう。



.....

.....

.....

8. 一人ひとりがしあわせに

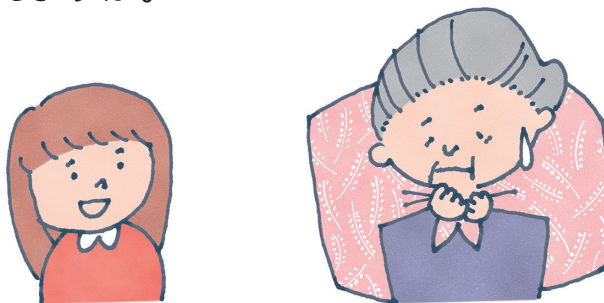
(2) しあわせになるために ～ボランティア活動①～

ボランティアとは

「ボランティア活動」とは、^{こま}困っている人がいたときに、その人がその人らしく生活していけるよう、自分ができる^{はん い}範囲で^{じ はつてき}自発的にお手伝いをする活動です。

ボランティアを始めるには「気づく、感じる、考える、行動する」ことが大切

^{れい}例) 重そうな荷物を持った^{れい}高齢者に出会った(みつけた)とします。みんなはどう感じ、なにを考えますか。



● 気づく



● 感じる



● 考える



● 行動する

8. 一人ひとりがしあわせに

(3) しあわせになるために ～ボランティア活動②～

ボランティア活動で大事なことは「やってみよう」という気持ちと、「自分たちには何ができるか」「相手の人は何を^ほして欲しいか」といったことをしっかり考えて行動することです。

下の活動例^{れい}を参考^{さん}にして、どんな活動ができるか考えてみましょう。

● ボランティア活動例



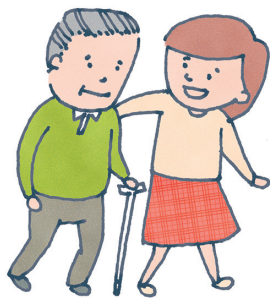
せいそう
清掃活動



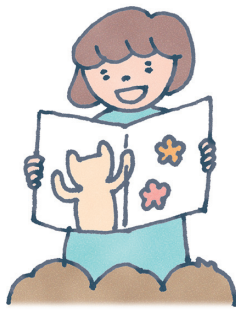
よ
お年寄りの荷物を
持ってあげる



かい
車いす介助



しかくしょうがい
視覚障害者・高齢者
の歩行介助



読み聞かせ



手話



雪かき



さいがい
災害ボランティア
がれき てつきよ
瓦礫の撤去



ぼ
募金活動



さい
国際交流

